

<b>2015-A</b>			
<b>国際機関名 (英語略称)</b>	アジア工科大学院(AIT)		
<b>英文名称</b>	Asian Institute of Technology		
<b>種 別</b>	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関 <b>その他</b>
<b>【所管官庁担当局課・室名】</b> 外務省国際協力局国別開発協力第1課			
<b>【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】</b>			
本部所在地: バンコク(タイ) 概要: アジア地域の経済開発のためには多くの土木工学等の技術者、特に高級技術者が必要であるが、現在アジアにはこれらの人材が不足している。AITはこれに対処するためアジア地域におけるこれらの分野の人材の育成、強化を目的としている大学院大学である。			
<b>【当該国際機関の財政(2015年予算)】(千米ドル)</b> <span style="float: right;">出典:【注1】</span>			
当該年度の総収入額: 32,928			
当該年度の総支出額: 30,720			
次年度への繰越額: 1,218			
会計検査機関名: KPMG <span style="float: right;">(現在の構成員の出身国: )</span>			
<b>【任意拠出金の拠出上位5ヶ国等 (2015年のもの)】</b> <span style="float: right;">出典:【注1】</span>			
	国 名	金額(千タイバーツ)	拠出率(%) (注)
1位	タイ	128,663	49
2位	バングラデシュ	38,853	15
3位	インド	29,483	11
4位	米国	18,174	7
5位	スリランカ	12,268	5
7位	日本	7,117	3
<b>【分担金・義務的拠出金の拠出上位5ヶ国等 (2015年のもの)】</b>			
	国 名	金額(千単位・通貨)	拠出率(%) (注)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
<b>【当該国際機関で働く邦人職員】</b>			
邦人職員数 うち幹部以上	6 人 うち 2 人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	117人 5%
<b>【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】</b>			
ポストの名称	職員氏名	備考	
副学長 Regional Resource center for Asia and Pacificセンター長	山本 和夫 水野 理	東京大学教授と併任 環境省出身	
<b>【注: 当該国際機関の会計年度】</b>			
当該国際機関の会計年度は毎年1月から12月末までとなっている。したがって、我が国(及び他の加盟国)とは会計年度が異なっているため、拠出率の扱い等については暦年となっている。			
<b>【注1】</b> 当該国際機関からの報告に基づく。			